

定期作況報告

(第6号 平成21年10月20日現在)

北海道立上川農業試験場

1. 気象概況

9月下旬：最高気温は平年より0.9 高く、最低気温も平年より0.1 高かった。降水量は平年より2.1mm 多く、平年対比 106%であった。降水日数は平年並であった。日照時間は平年より11.0 時間多く、平年対比 122 %であった。夏日(最高気温 25 以上)および真夏日(最高気温 30 以上)はなかった。

10月上旬：最高気温は平年より0.5 低く、最低気温も平年より1.4 低かった。降水量は平年より33.3mm 多く、平年対比 187%であった。降水日数は平年より2 日多かった。日照時間は平年より4.4 時間少なく、平年対比 90 %であった。夏日および真夏日はなかった。

10月中旬：最高気温は平年より0.5 高く、最低気温は平年より0.9 低かった。降水量は平年より4.4mm 少なく、平年対比 85%であった。降水日数は平年より1 日少なかった。日照時間は平年より10.5 時間少なく、平年対比 76 %であった。夏日および真夏日はなかった。

9月下旬から10月中旬までの気象は表1のとおりである。

表1 気象

調査項目	9月下旬			10月上旬			10月中旬			平均または合計		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
最高気温()	19.7	18.8	0.9	16.5	17.0	0.5	15.1	14.6	0.5	17.1	16.8	0.3
最低気温()	7.7	7.6	0.1	5.2	6.6	1.4	2.9	3.8	0.9	5.3	6.0	0.7
平均気温()	13.3	12.9	0.4	10.6	11.3	0.7	8.7	8.9	0.2	10.9	11.0	0.1
降水量(mm)	38.5	36.4	2.1	71.5	38.2	33.3	25.5	29.9	4.4	135.5	104.5	31.0
降水日数(日)	5	5	0	8	6	2	5	6	1	18	17	1
日照時間(hr)	60.4	49.4	11.0	39.0	43.4	4.4	34.0	44.5	10.5	133.4	137.3	3.9

注1) 比布アメダス観測値。

2) 平年は比布アメダス前10カ年の平均値。

3) 印は平年に比べて減を示す。

1) 水 稲 : 不良

事 由 : 8月中旬から続く平年を下回る低温により、成熟期は出穂時よりも平年比でさらに遅れ、「ほしのゆめ」「ななつぼし」が12日、「きらら397」は10日遅れた。登熟日数は、「ほしのゆめ」「ななつぼし」が平年より5日、「きらら397」は3日多かった。

[籾数]: m²当たり穂数は「きらら397」が平年よりわずかに多かったものの、他はやや少なかった。一穂籾数は「きらら397」が平年より16%多く、他はやや多かった。その結果、m²当たり籾数(m²当たり穂数×一穂籾数)は「きらら397」が平年より18%多く、「ほしのゆめ」「ななつぼし」は2%少なかった。

[稔実歩合・稔実籾数]: 稔実歩合はいずれの品種も平年に比べ低く、63~74%に留まった。m²当たり稔実籾数(m²当たり籾数×稔実歩合)も平年を大きく下回り、平年の76~81%であった。

[登熟歩合・m²当たり登熟籾数]: 登熟歩合は稔実歩合が低かったため平年の71~86%と低かった。m²当たり登熟籾数(m²当たり籾数×登熟歩合)はいずれの品種も平年を大きく下回り、平年の72~84%であった。

[精玄米千粒重]: いずれの品種も平年より1g以上軽かった。

[精玄米重]: 粒厚1.90mm以上の収量は平年対比で69~83%ときわめて少収であった。

以上、収量が平年を大幅に下回り、3品種こみにした収量は平年対比74%であった。このため、本年の作況は「不良」である。

表2 生育期節

品 種 苗	成熟期(月・日)			登熟日数(日)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
ほしのゆめ 成苗	9.18	9.6	12	50	45	5
きらら397 成苗	9.22	9.12	10	52	49	3
ななつぼし 成苗	9.22	9.10	12	53	48	5

注1) 平年値は平成14~20年7カ年のうち平成20年(最豊年)、平成15年(最凶年)を除いた5カ年の平均を用いた。

2) 印は平年に比べて「遅」(成熟期)または「多」(登熟日数)を示す。

表3 収量構成要素・決定要素および収量

品 種 苗	m ² 当り穂数(本)				一穂粒数(粒)				m ² 当たり粒数(×1000粒)			
	本年	平年	差	比(%)	本年	平年	差	比(%)	本年	平年	差	比(%)
ほしのゆめ 成苗	711	755	44	94	44.1	42.4	1.7	104	31.4	32.0	0.6	98
きらら397 成苗	726	714	12	102	49.2	42.4	6.8	116	35.7	30.3	5.4	118
ななつぼし 成苗	647	678	31	95	51.8	50.6	1.2	102	33.5	34.3	0.8	98

品 種 苗	稔実歩合(%)				m ² 当稔実粒数(×1000粒)				登熟歩合(%)			
	本年	平年	差	比(%)	本年	平年	差	比(%)	本年	平年	差	比(%)
ほしのゆめ 成苗	73.5	92.3	18.8	80	23.1	29.5	6.4	78	73.2	85.6	12.4	86
きらら397 成苗	63.3	91.8	28.5	69	22.6	27.8	5.2	81	60.8	85.2	24.4	71
ななつぼし 成苗	71.7	91.4	19.7	78	24.0	31.4	7.4	76	64.0	86.4	22.4	74

品 種 苗	m ² 当登熟粒数(×1000粒)				精玄米千粒重(g)				精玄米重(kg/10a)			
	本年	平年	差	比(%)	本年	平年	差	比(%)	本年	平年	差	比(%)
ほしのゆめ 成苗	23.0	27.4	4.4	84	20.5	21.9	1.4	94	460	554	94	83
きらら397 成苗	21.7	25.8	4.1	84	20.9	22.8	1.9	92	411	591	180	70
ななつぼし 成苗	21.4	29.6	8.2	72	20.6	21.9	1.3	94	428	620	192	69

注1) 平年値は平成14～20年7カ年のうち平成20年(最豊年)、平成15年(最凶年)を除いた5カ年の平均を用いた。

2) 印は平年に比べて「減」を示す。

3) 稔実歩合：触手で求めた。

4) 登熟歩合：比重1.06の塩水選で求めた。

5) 精玄米千粒重・精玄米重：粒厚1.90mm以上。水分15.0%に換算。

2) 秋まき小麦： やや不良

事 由：播種期は平年より9日遅い9月16日、出芽期は平年より8日遅い9月22日であった。現在のところ、平年と比較して草丈は低く、茎数が少なく、葉数は少ない。

したがって、目下の作況は やや不良 である。

表4 10月20日の秋まき小麦の生育

品 種 名	播種期(月日)			出芽期(月日)		
	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較
ホクシン	9.16	9.7	9	9.22	9.14	8

品 種 名	草 丈 (cm)			茎 数 (本 / m ²)			葉 数 (枚)		
	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較
ホクシン	18.0	32.2	14.2	840	1706	866	4.7	5.9	1.2

注1) 平年値は、前7か年中、平成20年、21年を除く5か年の平均値(収穫年度)。

2) は平年より減を示す。

3)大豆 : 平年並

事由:成熟期は平年より1日遅れた。主茎長は平年より長く、主茎節数は平年よりやや多いが、分枝数は平年よりやや少なかった。着莢数は平年並であった。なお、収穫物は乾燥が進んでいないため、現在も風乾中である。

したがって、目下の作況は 平年並 である。

表5 成熟期の大豆の生育

品 種 名	成 熟 期 (月日)			主 茎 長 (cm)			主 茎 節 数 (節)		
	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較
ユキホマレ	9.22	9.21	1	77	63	14	11.4	10.7	0.7

品 種 名	分 枝 数 (本/株)			着 莢 数 (個/株)		
	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較
ユキホマレ	5.1	6.0	0.9	80	78	2

注1) 平年値は前7か年中、平成14年、18年を除く5か年の平均値。

2) は平年より減を示す。

4)小豆 : 平年並

事由:百粒重は平年並かやや重かった。子実重は「エリモショウズ」で平年比92%とやや低収、「しゅまり」で同109%とやや多収であった。屑豆率は平年並であった。

したがって、目下の作況は 平年並 である。

表6 小豆の収量

品 種 名	子 実 重 (kg/10a)			
	本 年	平 年	比 較	対平年比(%)
エリモショウズ	335	363	28	92
しゅまり	359	328	31	109

品 種 名	百 粒 重 (g)			屑 粒 率 (%)		
	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較
エリモショウズ	13.1	12.7	0.4	1.1	1.1	0
しゅまり	12.9	12.1	0.8	1.3	1.6	0.3

注1) 平年値は、前7か年中、平成15年、平成16年を除く5か年の平均値。

2) は平年より減を示す。